

世界共通で使われている前立腺肥大症の症状の客観的な評価法としては、IPSS（国際前立腺症状スコア）とQOL（困窮度）スコアを調べることで重症度が判定できます。治療方針の決定や治療の効果の判定の参考となります。

この判断を元にご自身で判断することはお避け下さい。

◆IPSS（国際前立腺症状スコア）◆

どれくらいの割合で次のような症状がありましたか	全くない	5回に1回の割合より少ない	2回に1回の割合より少ない	2回に1回の割合くらい	2回に1回の割合より多い	ほとんどいつも
この1か月の間に、排尿後、まだ尿が残っている感じがありましたか？	0	1	2	3	4	5
この1か月の間に、排尿後2時間以内にトイレに行きたくなくなったことはありましたか？	0	1	2	3	4	5
この1か月の間に、排尿の途中で尿が何度も途切れることがありましたか？	0	1	2	3	4	5
この1か月の間に、排尿を我慢するのが難しいことがありましたか？	0	1	2	3	4	5
この1か月の間に、尿の勢いが弱いことがありましたか？	0	1	2	3	4	5
この1か月の間に、尿をし始めるためにお腹に力をいれることがありましたか？	0	1	2	3	4	5

	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
この1か月の間に、夜寝てから朝起きるまで、普通何回尿をするために起きましたか？	0	1	2	3	4	5

スコア合計

点

◆QOLスコア◆

	とても満足	満足	ほぼ満足	なんともいえない	やや不満	いやだ	とてもいやだ
現在の排尿状態がこのまま変わらずに続くとしたら、どう思いますか？	0	1	2	3	4	5	6

スコア合計

点